

本パンフレットは 2024 年 9 月 24 ～ 27 日に Wilkhahn Forum Tokyo にて開催した
展示会で配布したものです。

NEXT10 CHAIRS PROJECT のサイトで
詳しい商品情報をご覧ください。

こちらをクリック

NEXT10 CHAIRS

2024.09.24 - 09.27 Wilkhahn Forum Tokyo



10 NEXT 10 CHAIRS

10人と10脚で描く未来。

建築家、デザイナー、職人らクリエイターによる
次の時代に向けた10の挑戦的な椅子。

独自の視点、革新的なデザイン、卓越したクラフトマンシップ。

未来のライフスタイルへ、美しさと新たな座るという体験を提案します。

このコレクションは、挑戦から生まれる革新的なデザインの可能性を
次の世代へつなぐプロジェクトです。

A new future,

imagined through 10 designers and 10 chairs.

10 chairs produced by architects, designers, craftsmen, and creators ,
directed at the next generation to challenge the status quo.

Imagined through unique perspectives, innovative design,
and excellent craftsmanship, the chairs put forth a proposal to a future
lifestyle of beauty and a new experience of what it means to 'sit.'

This collection is a connection for the next generation to expand on the
potential of innovative design through continuing to challenge what has
come before.

CHAIRS & DESIGNER

Kei Sasaki	- SKIN CHAIR
Masaaki Iwamoto	- Tabula
Shogo Onodera	- Robin Chair
Yosuke Kinoshita	- PARADOX Lounge Chair
Shuhei Kamiya	- TAN
Daisuke Sugawara	- Upcycle Identity Series - Chair 001
Momoo Akanuma	- AGUMU Chair
Tomohiro Hata	- Vault Chair
Takaaki Fuji	- Wind Stories 01
Motosuke Mandai	- fly chair
Yu Momoeda	- Seasons

CRAFT

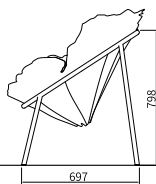
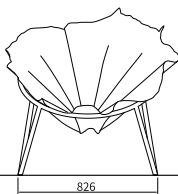
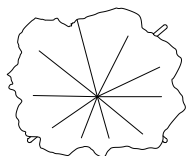
IYOBE Co.,Ltd.

SKIN CHAIR

スキンチェア



ある人にとって、一つの椅子が替えが効かない唯一無二の存在になること。
人と椅子にとって、それほど幸せな関係はないように思います。一つ一つ表情
が異なり、時間をかけて形を変えていく、生きもののような椅子。そんな椅子が
できれば、椅子と人との関係が変わるのではないかと考えました。
イヨベ工芸社の技術と素材を用いて、そのような椅子を作りたいと思いました。



Kei Sasaki
佐々木 慧

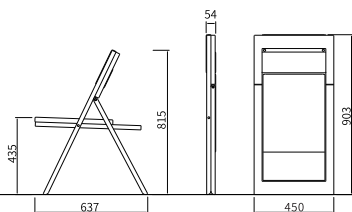
axonometric
アクソノメトリック

1987年長崎県生まれ。九州大学卒業、東京藝術大学大学院修了後、建築家の藤本壮介に師事。独立後、2021年に福岡を拠点にした建築設計事務所axonometricを設立。主なプロジェクトに、NOT A HOTEL FUKUOKA、2025年大阪・関西万博ポップアップステージなど。
Under35 Architecture Exhibition 2022
ゴールドメダル賞受賞。

Tabula タブラ



たたくと平たい板になる木製の折りたたみ椅子をデザインしました。
折りたたみ椅子といえば軽くてコンパクトなデザインが主流ですが、この椅子では素材感と座り心地（見えない工夫があります）、たたんだ際のシンプルな形を重視しています。座面の後ろには小さなテーブルがあり、帽子やスマホなどの小物を置くことができます。
一枚の板から無駄なく材料を切り出し、椅子をつくらうという試みでもあります。



Masaaki Iwamoto
岩元 真明

**Masaaki Iwamoto
Laboratory**
岩元真明研究室

1982年東京都生まれ。東京大学大学院修了、博士(工学)。

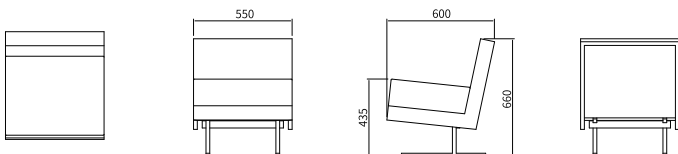
難波和彦＋界工作舎スタッフ、ヴォ・チョン・ギア・アーキテツツ(ベトナム)パートナーを経て独立。以降、ICADAと九州大学岩元真明研究室でデザインワークに取り組む。日本空間デザイン賞金賞(2019)、ウッドデザイン賞林野庁長官賞(2021)、iF Design Award(2023)など、国内外で受賞多数。

Robin Chair ロビンチェア



Robinはイギリスなどで日頃から親しまれている小さい鳥のことである。ブクブク、ふわふわ、こんもりした身体を2本の細い脚で支えている。その不均一なバランスは相反するイメージを包含している。かわいらしさと力強さ、重さと軽さ、柔らかさと硬さ。この椅子は、そのような両極端で曖昧なバランスの中で一瞬現れる美しさを捉えようとしている。一見、模型のように見えるシンプルな箱型は、IYOBЕの高度な木加工技術と張地技術によって達成されている。建築を作るように、軸組と面材で成立し、その技術や構造が凜とした背中に現れる。

(コンセプト文より抜粋)



Shogo Onodera
小野寺 匠吾

OSO | Office
Shogo Onodera
小野寺匠吾建築設計事務所

小野寺匠吾は東京やパリのデザイン事務所を経て2010年からSANAAに勤務。

国内外のプロジェクトを経験したのち18年に小野寺匠吾建築設計事務所設立。作品に「秋谷の住宅」や「PATOU表参道ヒルズ店」など。EXPO2025大阪・関西万博テーマ館「いのちを育む」パビリオンの設計担当。

dezeen Awards 2018, FRAME Awards 2019, DFA Design for Asia Awards 2022など受賞多数。

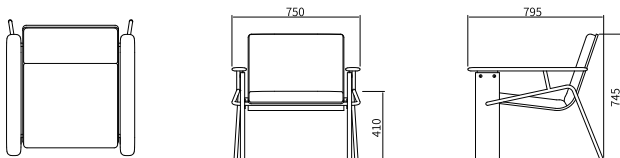
PARADOX Lounge Chair

パラドックスラウンジチェア



このチェアは、要素の交換を想定した構造で組み上げた形態で、同じ形態でありながら別物になるものである。

職人技術の結晶である家具は、完成形であることが価値とされてきたが、価値を要素毎に設定し、捉え直した。アームとなっている部分は、IYOBE社が持つ、日本でも数少ないピアノ塗装の技術を活かした仕上げで、その技術力を肌で感じることができる。



Yosuke Kinoshita

木下 陽介

Canuch

カヌチ

木下陽介・野口優輔による、東京を拠点とするデザインコレクティブ。

2012年設立。人と物との関係性の探求を起点とし、インテリアデザイン、プロダクトデザイン、マテリアル開発など様々なプロジェクトを手がけている。

代表的な仕事に、株式会社ルミネ新オフィス、鎌倉紅谷八幡本店、TBWA\HAKUHODO オフィス、小国杉を使用したファニチャーFILの「MASS SERIES」のデザイン等。

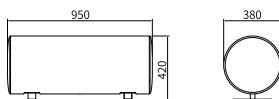
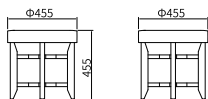
TAN タン



「座る」とマテリアル

自然の中で、例えば何かに腰掛けるという行為を行うとしたら、岩や切り株などを触って、見て、選ぶだろう。今回の「座る」という行為を支える素材には、日本のクラフトマンシップのひとつである織物を選びました。

「着る」ためのマテリアルを「座る」という行為に置き換えるという挑戦です。生地の手触りを検討した結果、反物を約3倍にしたシンプルな形状となりました。日本の高度な織物技術のアイコンとなります。



Shuhei Kamiya
神谷 修平

**KAMIYA
ARCHITECTS**
カミヤアーキテクツ

カミヤアーキテクツ (KA) は建築家・クリエイティブディレクターの神谷修平が2017年に設立した東京青山のデザインファームです。

神谷の日本で培ったディテールと、北欧で学んだ大胆な形状で、デザインの本質を探究します。

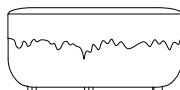
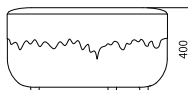
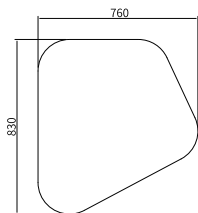
Upcycle Identity Series - Chair 001

アップサイクル アイデンティティ シリーズ - チェア 001



Upcycle Identity 001は、革製家具で通常廃棄されてしまう部分をアップサイクルした、個性豊かなラウンジチェアです。

通常の製造過程で廃棄されてしまう革の輪郭部分や傷は、実は革本来の個性であり魅力であると考えます。Upcycle Identityは、本来は廃棄されてしまう部分を、イヨベエ工芸社の卓越した技術力によって唯一無二の個性を持った家具としてアップサイクルした環境配慮型のラウンジチェアです。



Daisuke Sugawara
菅原 大輔

SUGAWARADASUKE
Architects

SUGAWARADAI SUKE
建築事務所

日仏の設計事務所として10か国22都市のプロジェクトを経験し帰国後、独立。未来のコンテキストとなる「物語る風景」の生成を目指し、グローバルブランドの店舗設計から交通拠点を中心としたまちづくり、地域ラウンジの運営まで、横断的な活動を行っている。

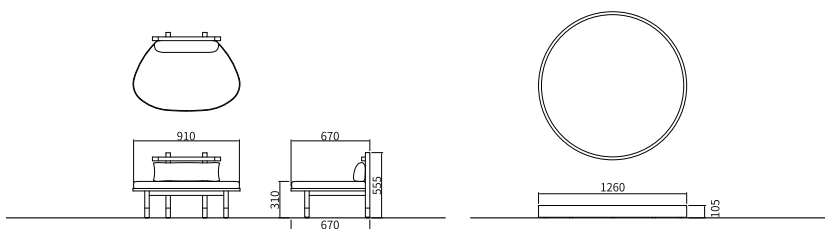
AGUMU Chair アグムチェア



AGUMUはあぐらの語源でもある"足組む"椅子です。

足組むとは、座るときに一方の脚を他方の脚の上に交差させて座る姿勢を指し、古くから世界中で愛されています。単独では自由に使うことができ、複数使いでは座る距離を固定化することで人と人が関係性を踏み込まざるを得ない距離をつくり出します。

このギリギリの距離感で、人と人のエンゲージメントを生み出す椅子です。



Momoo Akanuma
赤沼 百生

DE-SIGN INC.
ディー・サイン

株式会社ディー・サインは「ハタラクをドライブする」ために、目的をもって場を創る、プロフェッショナル集団です。オフィスや商業・公共施設など様々なプロジェクトにおいて、企画、コンサルティング、プロジェクトマネジメント、デザインを行っています。新たな価値を生む場のために、常に新たなチャレンジを行い続けています。

Vault Chair

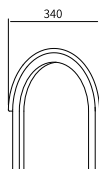
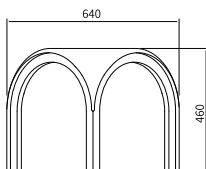
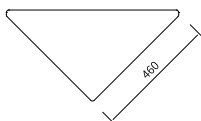
ボールドチェア



二本のアーチを組み合わせた三角形ボールドのチェア。

複数のチェアのアーチを隣り合わせに連結することで、ボールドは長いトンネルのようにつながり、ベンチのような人々が集まれる大きな座面となり、または環状に連結すれば、花が咲いたように人の輪をつくることもできます。座面の張地は、長い毛並みのものやすっきりとしたものなど自在に選択できます。それぞれの特徴を持った張地による座り心地と存在感を持ったユニットを自在に組み合わせ、使い方に応じて変化する様を楽しむことのできる、ある種の生命体のようなチェアです。

(コンセプト文より抜粋)



Tomohiro Hata

畑 友洋

**Tomohiro Hata
Architect & Associates**

畑友洋建築設計事務所

兵庫県生まれ。

2003年に京都大学工学院工学研究科
修了後、高松伸建築設計事務所に勤務。

その後2005年に自身のアトリエである
畑友洋建築設計事務所を設立し、
現在は神戸芸術工科大学准教授。

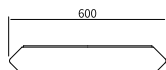
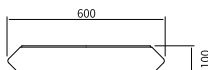
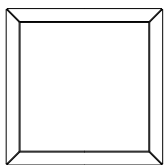
Wind Stories 01

ウィンド ストーリーズ 01



床座にも椅子座にも対応できるスタッキングスツールを考えた。
ひとつひとつの座は藤が編み込まれた座布団のような形状であり、座ると風が
通り抜けて心地良い。2つ・3つ・4つと重ねると、ロースツール・スツール・
ハイスツールとして座ることができる。地球時代の多様なライフスタイルを
尊重できるよう、スタッキングで床座・椅子座の両方に寄り添う柔軟性を持ち、
地球環境時代の椅子なので材料は木材や藤といった自然な素材とし、
地球沸騰化時代に人肌に触れるので、空気を湛え風が抜ける座とした。

(コンセプト文より抜粋)



Takaaki Fuji
藤 貴彰

tyfa

建築家。サーキュラー建築の研究者。

天然資源であるコルクを外断熱を兼ねた外装とした「出窓の塔居」、廃棄物を出さずに容易に分解・移築・再構成可能で住まい手の修理する権利を重視した「巡る間」、建設地の緯度経度から形を導き、その地の食品廃棄物建材を世界で初めて構造体として用いた「World-Food Waste Tea Houses ベネチ庵・アラビ庵」など、資源循環に重きをおき、地球環境を意識した設計を行なっている。日本建築設計学会賞大賞、日本建築学会作品選集新人賞、グッドデザイン賞ベスト100、米国Record Housesなど、国内外で受賞多数。

fly chair

フライチェア



ペーパークラフトのように一枚の平面から生まれる椅子。
紙を折り曲げると強くなる。そんな単純な構造から考えてみたらどうなるのだろう。
椅子を建築や橋と同じように、工法や構造から考え直してみた。
薄くスライスされたブナの木を積層させた曲げ合板は、強度を与えると同時に
しなやかさも生み出し、座り心地が良くなる。さらに、この薄い木による構造により、
とても軽くなり、どこにでも気軽に連れていける椅子となる。最小限の構造で
出来るだけシンプルに美しい形をつくることで、空間に自然に溶け込むような
椅子になってほしい。



Motosuke Mandai
萬代 基介

Mandai Architects
萬代基介建築設計事務所

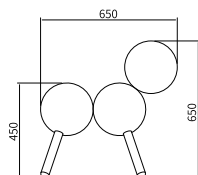
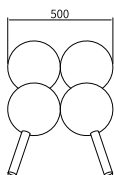
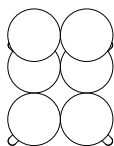
1980年神奈川県生まれ。
2005-11年石上純也建築設計事務所勤務。
2012年萬代基介建築設計事務所設立。
2012-15年横浜国立大学大学院Y-GSA設計
助手。主な受賞にDSA空間デザイン大賞、JCD
デザインアワード金賞、藤井厚二賞など。主な
作品に「おしか番屋」(2016)「石巻の東屋」
(2021)「椎葉邸」(2022)など。

Seasons シーズンズ



家の中でハイハイしている息子の目線では、椅子が一つの風景のように感じられるのではないかと思います。

そこでまず、子どもがぶつかっても痛くない柔らかい椅子を作ろうとしました。次に、浮世絵のように自然をグラフィカルに、抽象化して椅子に取り込むことを考えました。これらのアイデアをもとに、丸い「樹幹」と、4本の「幹」を集めて一つの椅子にしました。「樹幹」には、春の桜、夏の緑、秋の落葉、冬の雪といった季節の色をあてはめます。この椅子が並ぶと、四季の風景が生まれます。



Yu Momoeda
百枝 優

**YU Momoeda
Architects**
百枝優建築設計事務所

百枝優は隈研吾の下で経験を積んだあと、YU Momoeda Architectsを福岡に設立しました。彼はデザインを通して、見えないもの、くらしの中に馴染んでいて普段は気づきにくいものを抱き上げ、それらにかたちを与えます。

1983年長崎生まれ。九州大学卒業、横浜国立大学大学院 Y-GSA修了後、隈研吾建築都市設計事務所に入社。

2014年に独立。現在、九州大学BeCAT 特任准教授。国内外で受賞多数。

IYOBE Co.,Ltd. イヨベ工芸社



NEXT 10 CHAIRS PROJECTの全てのチェアは、
イヨベ工芸社の職人と共に設計検討・製作を行っています。

IYOBEブランドは心地よさを追求する家具製作をモットーとし、
最新の設備と専門の職人の高い技術を結集しています。

家具は目に触れ、椅子は体に触れることで、人々の心を満たすもの。
その心地よさを生み出すために、私たちは常に技術の向上と品質の
追求に努めています。特にコントラクト（特注家具）の製作では、
お客様のニーズに応えるため、時代のトレンドや個性を踏まえた設計
から製造まで、細心の注意を払っています。OEMや特注製品の製造に
おいても、他社に真似のできない独自のスキルを活かし、最高水準の
製品を提供するための努力を惜しみません。

これらの努力が、お客様との絆をより強固なものにし、IYOBEブランド
の信頼を築き上げる重要な要素となっています。



IYOBE SOFA STUDIO CONTACT

OPEN : 10:00 am - 17:00 pm (事前予約制)

定休日 : 土・日・祝

TEL : 03-3647-2734

Email : Info@iyobe.com



<NEXT 10 CHAIRS PROJECT 起案>

株式会社ディー・サイン DE-SIGN INC.

〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-11 VORT京橋 2F kyobashi TORSO

Tel. 03-3243-2500

Fax. 03-3243-2501

<https://design-inc.co.jp/>

<撮影協力>

Photographer フォトグラファー 本浪隆弘

Art Firector アートディレクター 岡野真也 RYDEN Inc.

PropStylist プロップスタイリスト 秋山麻衣子 MaG

Producer / Project Manager プロデューサー/ プロジェクトマネージャー 兵庫達人 RYDEN Inc.